

枚方市 商工だより

《平成29年下半期 7月～12月》

目次

調査の方法	2
概要	3
前期との比較	4
回答者からの意見	9
キラリ輝く 枚方の事業者紹介 ..	13
枚方市からのお知らせ	15

調査の方法

本調査は、枚方市の委託事業として北大阪商工会議所が実施しているもので、地域経済の総合的な動向を把握することで、産業振興のための基礎資料として利用するとともに、地域の経営者等へ情報提供している。

調査対象は、製造業、建設業、卸売業、小売業、飲食店、サービス業の6業種で、市内の主要な産業を網羅している。

調査方法は、往復はがきによるアンケート方式で、2018年1月に900社に発送し、回答期限までに269社から回答が得られた。

集約業種名	母集団	回答数	回答率	
製造業	274	106	38.7	
非製造業	建設業	171	38	22.2
	卸売業	49	17	34.7
	小売業	120	37	30.8
	飲食店	78	24	30.8
	サービス業	208	47	22.6
非製造業計	626	163	26.0	
合計	900	269	29.9	

表1. 業種別回答状況

全体の回答率は29.9%で、業種別・規模別回答状況は、表1、表2の通りである。

規模別	製造業			非製造業			全体		
	母集団	回答数	回答率	母集団	回答数	回答率	母集団	回答数	回答率
1～3人	52	9	17.3	200	39	19.5	252	48	19.0
4～9人	64	15	23.4	231	63	27.3	295	78	26.4
10～19人	48	19	39.6	90	25	27.8	138	44	31.9
20～29人	16	8	50.0	39	15	38.5	55	23	41.8
30～49人	27	15	55.6	29	9	31.0	56	24	42.9
50～99人	24	17	70.8	18	5	27.8	42	22	52.4
100～199人	28	14	50.0	13	5	38.5	41	19	46.3
200～299人	5	2	40.0	6	2	33.3	11	4	36.4
300人以上	10	7	70.0	—	—	—	10	7	70.0
合計	274	106	38.7	626	163	26.0	900	269	29.9

表2. 規模別回答状況

大阪府では四半期毎調査、本市では半期毎調査を実施しており、直接比較できない項目が存在する場合があります。

D.Iは「上昇または増加等の企業の割合(%)」から「下降または減少等の企業の割合(%)」を差し引いたもので、プラスは上昇・増加・黒字基調・順調等の企業が上回り(景気の上向き傾向)、マイナスは下降・減少・赤字基調・窮屈等の企業割合が上回ったこと(景気の下向き傾向)を示す。したがって、売上高などの実数値の上昇率を示すものではなく、強気・弱気などの景況感の相対的な広がりを意味する。

$$D.I = (\text{増加・順調などの回答割合}) - (\text{減少・窮屈などの回答割合})$$

$$\text{例. 業況・採算: (黒字) - (赤字) \quad \text{売上: (増加) - (減少)}$$

概要

景気は、緩やかに回復している。

先行きについては、雇用・所得環境の改善が続くなかで、各種政策の効果もあって、緩やかな回復が続くことが期待される。ただし、海外経済の不確実性や金融資本市場の変動の影響に留意する必要がある。

*内閣府発表 月例経済報告（1月）による

枚方市の概要

製造業の回復は顕著で、大幅に売上及び単価が回復している。依然として仕入価格の上昇と雇用不足感の高まりは続いているが、営業利益は調査リニューアル後初めてD.Iがプラスに転じていることから改善がみられる。設備投資も増加傾向にあり、来期の業況見通しは明るい。

非製造業は、単価の値上り傾向が強いことから売上は回復傾向にあり、営業利益及び採算状況が改善している。ただ、仕入価格の上昇や雇用不足感の高まりから来期の業況見通しは暗い。

	出荷・売上高	製・商品単価	原材料価格	営業利益	採算状況	資金繰り	設備投資	雇用状況	来期の業況見通し
製造									
非製造									

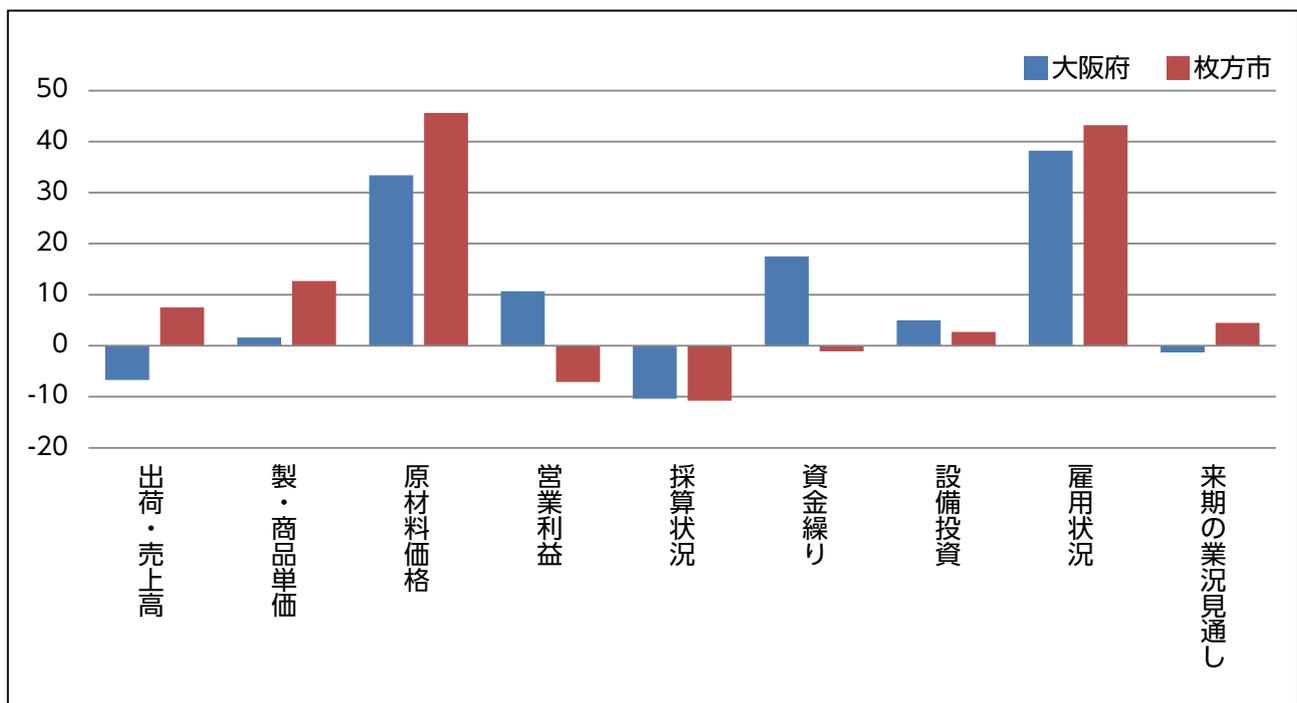
D.I値： … 5以上 … -5～5未満 … -15～-5未満 … -25～-15未満 … -25未満

※原材料価格及び雇用状況に関しては、数値を反転して評価する。

D.Iまとめ（大阪府との比較）

出荷・売上高は、大阪府がマイナスに対してプラスとなっており、製・商品単価のプラス幅も大きい。ただ、原材料価格の上昇の影響で営業利益は大阪府がプラスに対してマイナスとなっている。資金繰りは回復傾向にあるものの、依然マイナスとなっており、設備投資のプラス幅は小さい。

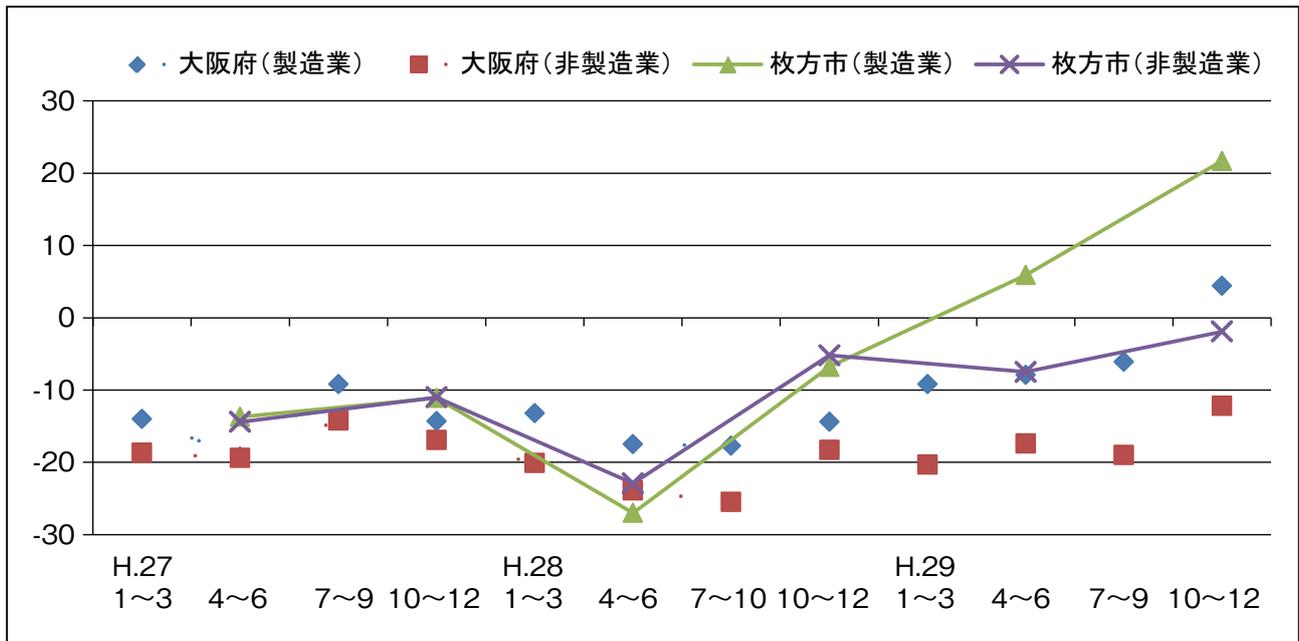
雇用不足感は大阪府と同じく高い水準にあるが、来期の業況見通しは明るい。



前期との比較

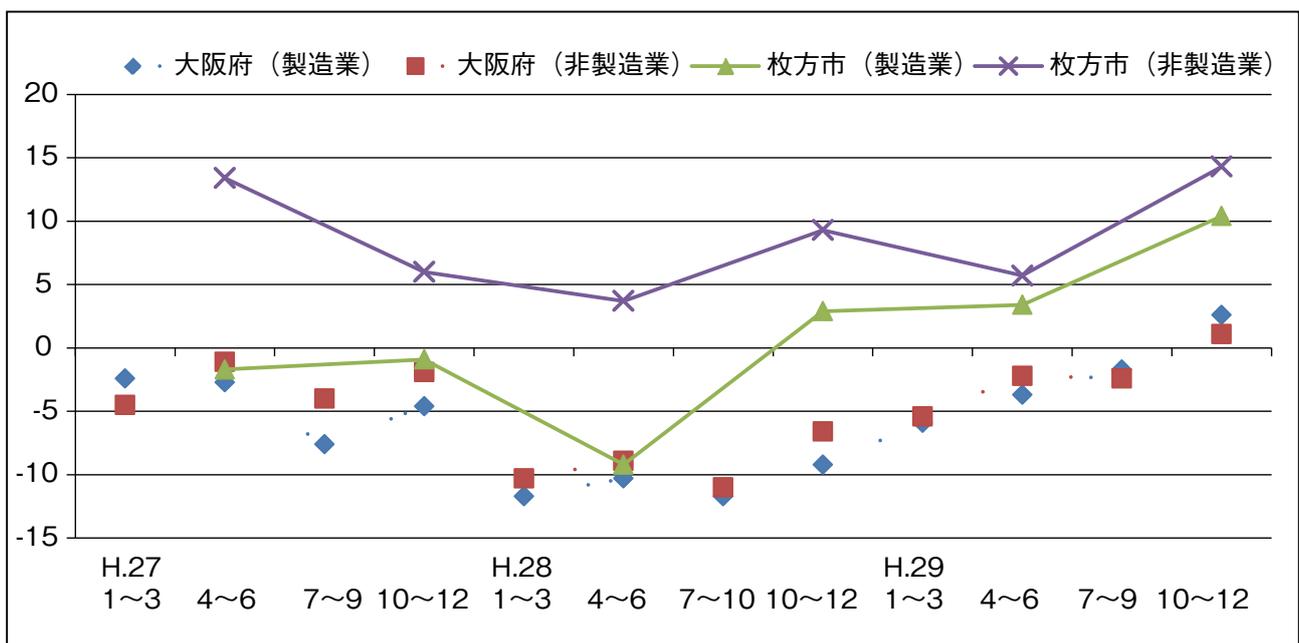
● 出荷・売上高D I

製造業、非製造業ともに回復傾向にある。
特に製造業の回復が顕著にみられる。
大阪府も同様に回復傾向にある。



● 製・商品、サービス、請負・客等の単価

製造業、非製造業ともに値上り傾向にある。
非製造業は、サービス業以外は全て値上り傾向。
大阪府も同様に値上り傾向にある。

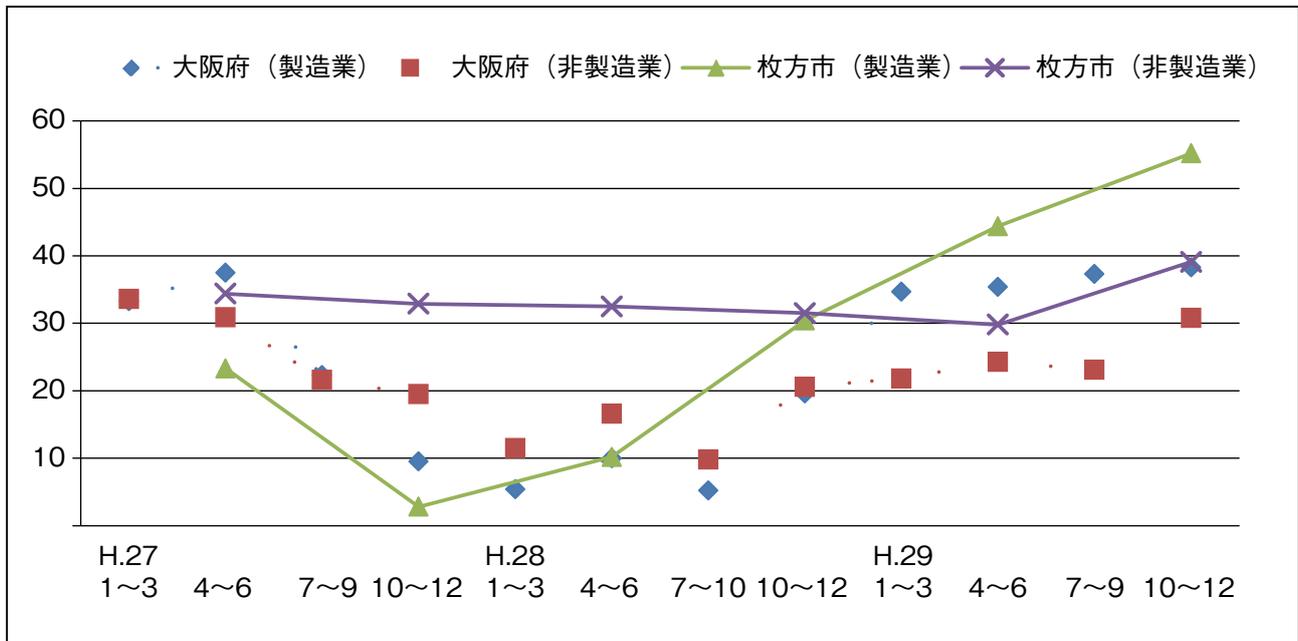


● 原材料・部品等の仕入価格

製造業、非製造業ともに大幅に値上り傾向にある。

非製造業は、飲食店以外は全て値上り傾向。

大阪府も同様に値上り傾向にある。

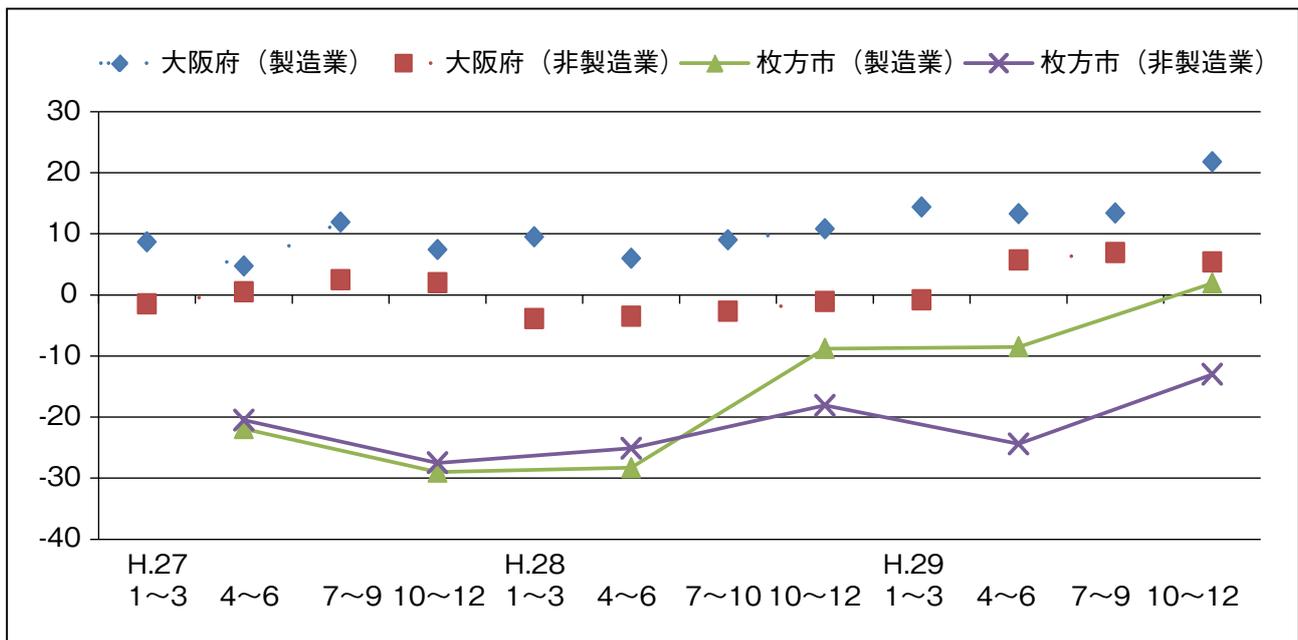


● 営業利益

製造業、非製造業ともに改善傾向にある。

製造業は調査リニューアル後初めてD.Iがプラスに転じている。

大阪府は、製造業に改善傾向がみられる。

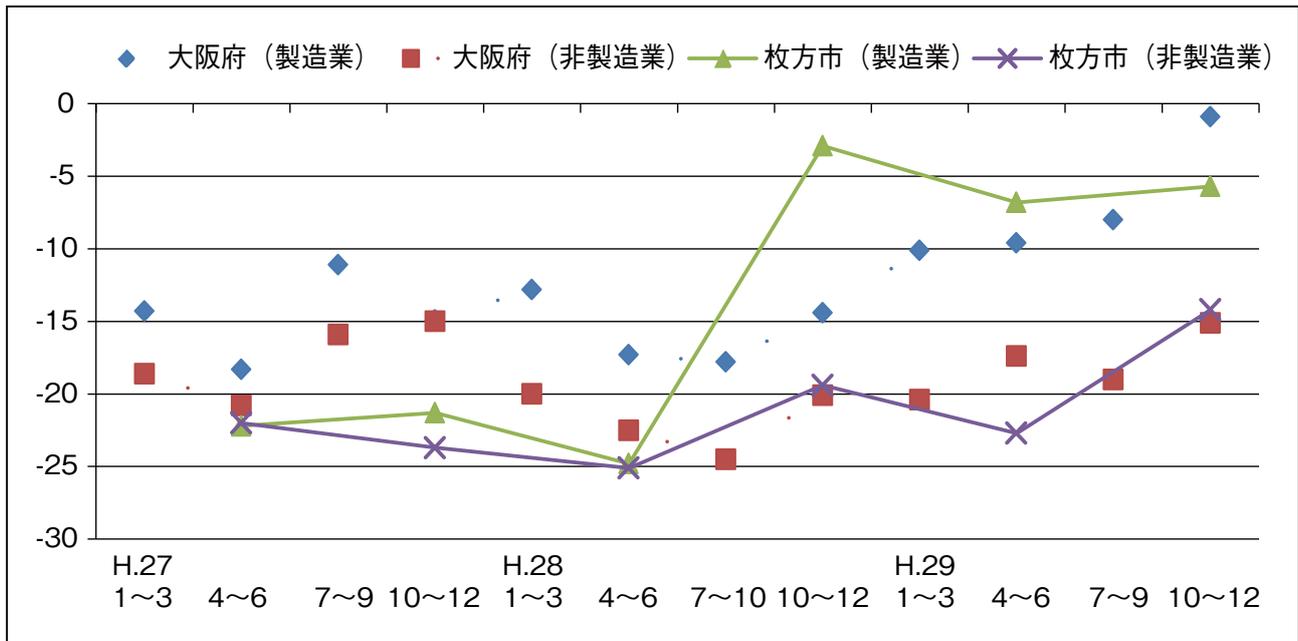


● 採算状況

製造業は、若干の改善傾向にある。

非製造業は、飲食店・サービス業以外は改善傾向にあるため、製造業よりも改善幅が大きい。

大阪府は、製造業・非製造業ともに改善傾向にある。

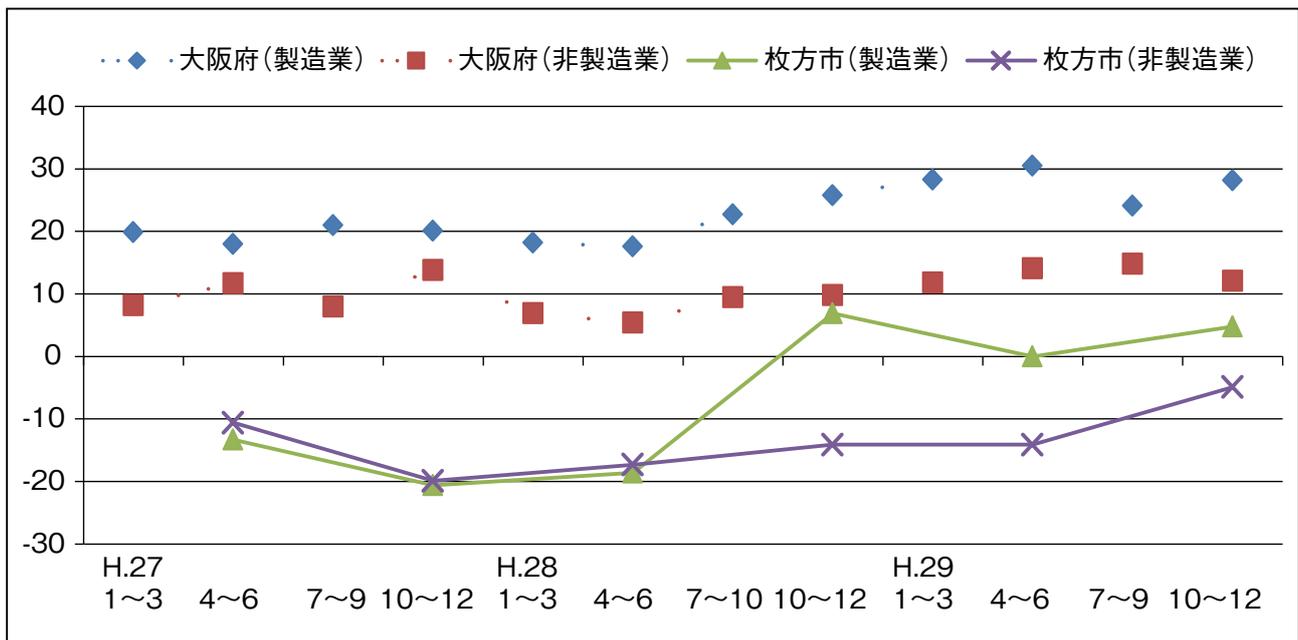


● 資金繰り

製造業、非製造業ともに改善傾向にある。

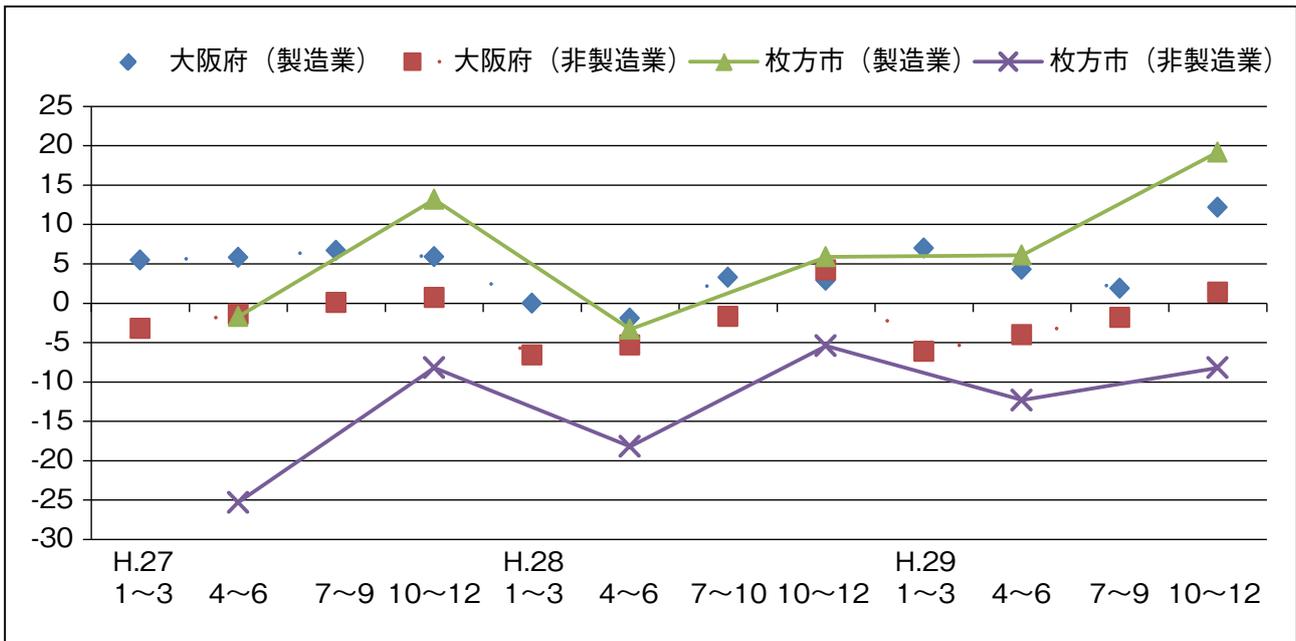
非製造業は、サービス業以外は全て改善傾向にある。

大阪府は、製造業、非製造業ともに若干の悪化傾向にある。



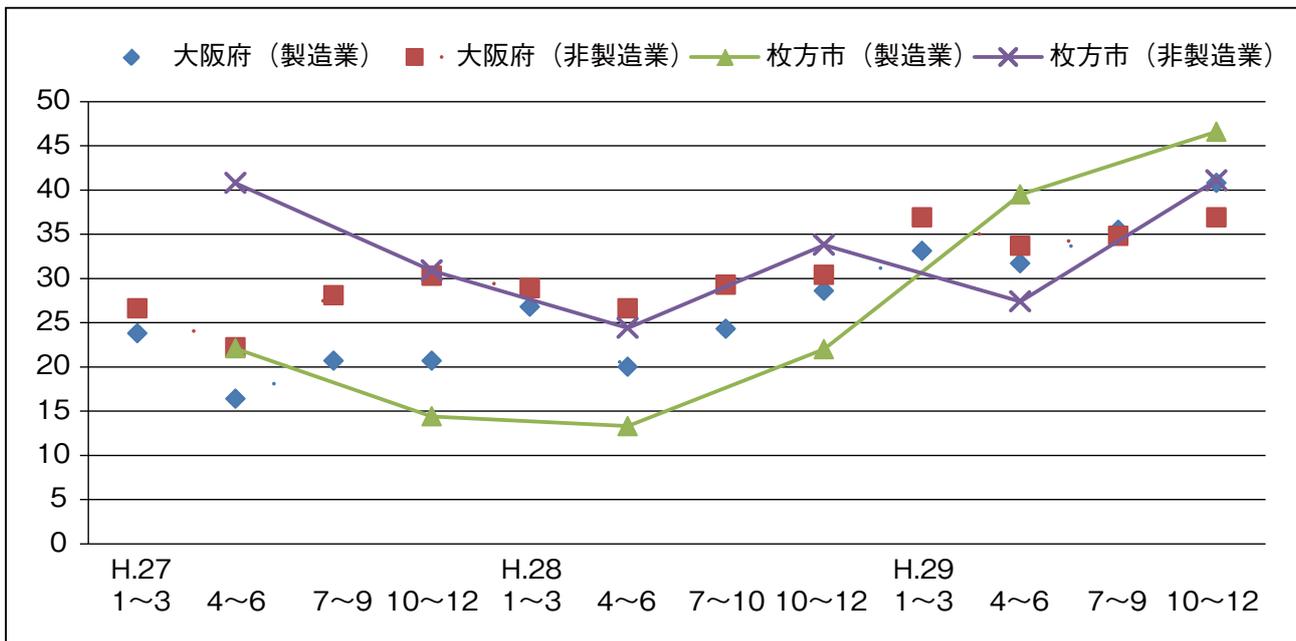
● 設備投資

製造業、非製造業ともに増加傾向にある。
 非製造業は、特に卸売業の増加がみられる。
 大阪府は、製造業、非製造業ともに改善傾向にある。



● 雇用状況(雇用不足感)

製造業、非製造業ともに大幅に雇用不足感が高まっている。
 非製造業は、飲食店以外は全て雇用不足感が高い。
 大阪府も同様に雇用不足感が高まっている。

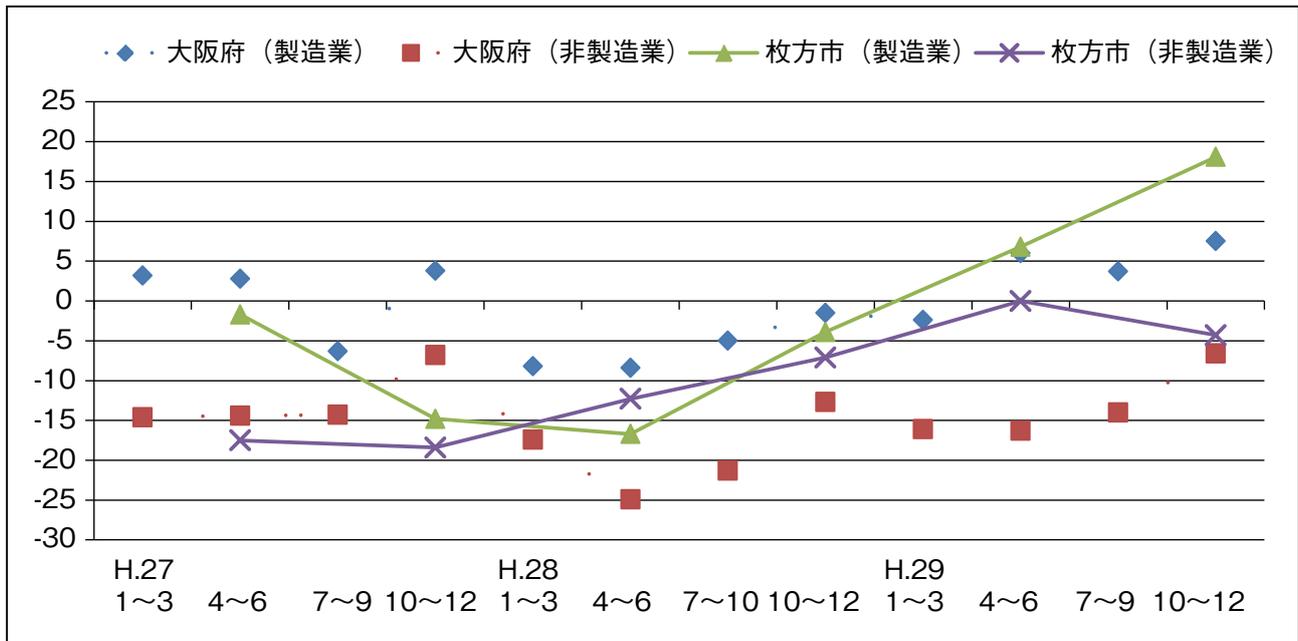


● 来期の業況見通し

製造業は、前期に引き続き来期の業況見通しは明るい。

非製造業は、サービス業のD.Iがプラスからマイナスに転じた影響もあって、業況見通しは暗い。

大阪府は、製造業、非製造業ともに業況見通しは明るい。



お役立ち情報

<枚方市立地域活性化支援センター>

【主な事業内容】

■ 経営相談 ※予約制

経営相談では、各分野の専門家や経験豊かな企業OBなどの相談員が、創業・経営等に関するあらゆるお悩みについて個別相談（無料）を行います。

■ 事業者向けセミナー

人材育成、経営革新、販路開拓・拡大、ものづくり現場改善、IT、地域資源活用など各種セミナーを実施します。

■ 貸会議室

各種会議、セミナー、面接等に幅広くお使いいただけます。保育室やパソコン研修室もあります。

【施設住所】 輝きプラザきらら 5階～7階（枚方市車塚1丁目1番1号）

【問い合わせ】 電話番号：050-7105-8080 FAX番号：072-851-5384
ホームページ URL：http://www.hirakata-kassei.jp/

<ものづくり企業支援総合サイト>

枚方市の「ものづくり企業（製造業）」の技術、製品情報などを掲載しています。

取引拡大や新製品開発にご利用ください。

ホームページ URL：http://www.waza-kirara.jp/

回答者からの声

産業分類	従業員数	自由意見
食料品製造業	G	コンビニ・スーパー向けの弁当類の製造ですが、コンビニの出店は少なく、売上増加は期待薄。スーパー系の売上を確保していく方向性です。
衣服・その他繊維製造業	A	取引先が人材不足となり、仕事の量が減少しました。 競合製品もいくつか出てきているが、品質の高さとサービス面で顧客満足度が弊社が上回っており、業績は今後も上向きと予想される。
	B	景気が良くなってきているというが貧富の差が拡大して皆が良いという実感がもてないと思う。皆が実感できるような更なる政策を期待しています。
	C	消費動向が非常に停滞しているように感じる。アジア中心の商品が低価格で氾濫して、デフレを牽引しており、日本の将来が心配。
化学工業	C	人材不足。
プラスチック製品製造業	G	原材料価格上昇有。販売価格への反映が課題。他廃棄物コスト増などの課題有。
その他製造業	A	注文が入るとすぐという無理な事が多く、在庫を持たないというためと思われませんが、大変です。
鉄鋼業	C	鉄の製造品において、従来品の生産には、利益が見込めない。他社との競争のない物作りに取り組むことに展開が見える。人材不足に各市町村も対策を考えるべきである。
非鉄金属製造業	C	①人手不足。特に若年層の人材不足。②IOT・AIが世間で騒がれていますが、接点が見つからない。(勉強不足?) ③運送費・その他、細かい値上がりあり。価格軽化ムリ。
金属製品製造業	C	人手不足です。大型案件がちらほら来ています。
	F	法人税・所得税・住民税の引下げが必要。会社負担の健保料・雇保料の引下げが必要。公務員の3割削減・2割給与カット等を実行すべき!! (特に中央の) 福祉業界の人材不足に悩んでいます。
一般機械器具製造業	D	材料の値上がりに苦慮してます。
	E	人材確保がきびしい。
電機機械器具製造業	B	人材(技術者)不足です。
その他製造業	B	中国にて生産しているので資金繰りに問題がある。又販売先の手形回収にも多少心配はしている。
	E	当面安定した受注が見込めそうなので、受注に対応できる体制と将来に向けた布石を打っておきたい。

産業分類	従業員数	自由意見
総合工事業	C	建設業です。悪いです。
	D	人手不足と高齢化。若い人材を集めるのに苦労します。
職別工事業	B	人材の育成。
建築材料・鉱物・金属材料等卸売業	A	大手企業の収益の増加と中小零細企業の収益の減少の原因を政府及び金融機関は考慮して欲しい。
各種商品小売業	G	インバウンドによる化粧品売上が大幅増。
飲食料品小売業	C	全体に沈下傾向・閉店が増えそうな気配。
自動車・自転車小売業	B	人手不足を実感。今年度採用募集に申込者が少ない。
家具・建具・じゅう器小売業	B	まだ見通しがたっていない。
	E	お客が来ない。来ても買わない。見るだけ。
一般飲食店	B	地域の企業の減少や、顧客の高齢化により客数減、等々、「アベノミクス」はどう?と思います。
	D	近辺にコンビニが多くなり、歩きながらの飲食が目立って多くなりました。ガッカリです。
不動産取引業	A	景気対策を強く強く打ち出してくださいようお願いいたします。
	B	あまり状況はよろしくない。昨年の後半から、徐々に受注減。
娯楽業	B	人件費の高騰（アルバイト）がかなり多く、設備の老朽化も進み、経費がかかる。
物品賃貸業	C	コピー / 複合機、ICT 分野共に競争が激化しており、販売価格や利益の下落が増している。業界では、異業種への参入や新たなビジネスモデルの形成等、動きが活発である。弊社は地域密着型の営業を更に強化する方針で、地域貢献活動に注力していきます。
社会保険・社会福祉	B	福祉サービス事業より、利用している人たちの施設外（就労）支援が出来る企業と接点を持ち、互いに益を従事していければと。社会の貢献を目指す。
教育	C	やっと設立2年目ですので、安定して継続できる経営環境を作っていきたいと思います。

規模区分 A = 1～3人、B = 4～9人、C = 10～19人、D = 20～29人、
E = 30～49人、F = 50～99人、G = 100人以上

分析項目表

● 出荷・売上高

	構成比 (%)			D.I
	増加した	横ばい	減少した	
製造業	38.7	44.3	17.0	21.7
非製造業	25.9	46.3	27.8	-1.9
建設業	26.3	42.1	31.6	-5.3
卸売業	11.8	64.7	23.5	-11.8
小売業	29.7	35.1	35.1	-5.4
飲食店	12.5	66.7	20.8	-8.3
サービス業	34.8	41.3	23.9	10.9
合計	31.0	45.5	23.5	7.5

● 製・商品、サービス、請負・客等の単価

	構成比 (%)			D.I
	値上りした	横ばい	値下りした	
製造業	13.2	84.0	2.8	10.4
非製造業	21.1	72.0	6.8	14.3
建設業	28.9	65.8	5.3	23.7
卸売業	29.4	64.7	5.9	23.5
小売業	16.2	75.7	8.1	8.1
飲食店	25.0	75.0	0.0	25.0
サービス業	13.3	75.6	11.1	2.2
合計	18.0	76.8	5.2	12.7

● 原材料・部品等の仕入価格

	構成比 (%)			D.I
	値上りした	横ばい	値下りした	
製造業	55.2	44.8	0.0	55.2
非製造業	41.0	57.1	1.9	39.1
建設業	45.9	54.1	0.0	45.9
卸売業	50.0	50.0	0.0	50.0
小売業	29.7	64.9	5.4	24.3
飲食店	50.0	45.8	4.2	45.8
サービス業	38.1	61.9	0.0	38.1
合計	46.7	52.1	1.1	45.6

● 営業利益

	構成比 (%)			D.I
	値上りした	横ばい	値下りした	
製造業	27.6	46.7	25.7	1.9
非製造業	19.8	47.5	32.7	-13.0
建設業	21.1	42.1	36.8	-15.8
卸売業	11.8	70.6	17.6	-5.9
小売業	24.3	37.8	37.8	-13.5
飲食店	4.2	62.5	33.3	-29.2
サービス業	26.1	43.5	30.4	-4.3
合計	22.8	47.2	30.0	-7.1

● 採算状況

	構成比 (%)			D.I
	良くなった	横ばい	悪くなった	
製造業	20.8	52.8	26.4	-5.7
非製造業	14.2	57.4	28.4	-14.2
建設業	10.5	63.2	26.3	-15.8
卸売業	11.8	70.6	17.6	-5.9
小売業	21.6	43.2	35.1	-13.5
飲食店	4.2	70.8	25.0	-20.8
サービス業	17.4	52.2	30.4	-13.0
合計	16.8	55.6	27.6	-10.8

● 資金繰り

	構成比 (%)			D.I
	良くなった	横ばい	悪くなった	
製造業	18.1	68.6	13.3	4.8
非製造業	13.6	67.9	18.5	-4.9
建設業	21.1	55.3	23.7	-2.6
卸売業	5.9	82.4	11.8	-5.9
小売業	21.6	56.8	21.6	0.0
飲食店	4.2	70.8	25.0	-20.8
サービス業	8.7	80.4	10.9	-2.2
合計	15.4	68.2	16.5	-1.1

● 設備投資

	構成比 (%)			D.I
	増加した	横ばい	減少した	
製造業	30.8	57.7	11.5	19.2
非製造業	10.1	71.7	18.2	-8.2
建設業	13.2	65.8	21.1	-7.9
卸売業	18.8	68.8	12.5	6.3
小売業	2.7	62.2	35.1	-32.4
飲食店	8.7	82.6	8.7	0.0
サービス業	11.1	80.0	8.9	2.2
合計	18.3	66.2	15.6	2.7

● 雇用状況

	構成比 (%)			D.I
	不足	充足	過剰	
製造業	50.5	45.6	3.9	46.6
非製造業	44.8	51.5	3.7	41.1
建設業	63.2	34.2	2.6	60.5
卸売業	35.3	64.7	0.0	35.3
小売業	40.5	51.4	8.1	32.4
飲食店	25.0	66.7	8.3	16.7
サービス業	46.8	53.2	0.0	46.8
合計	47.0	49.2	3.8	43.2

● 来期の業況見通し

	構成比 (%)			D.I
	良くなる	横ばい	悪くなる	
製造業	31.4	55.2	13.3	18.1
非製造業	16.8	62.1	21.1	-4.3
建設業	21.6	62.2	16.2	5.4
卸売業	5.9	82.4	11.8	-5.9
小売業	10.8	56.8	32.4	-21.6
飲食店	16.7	70.8	12.5	4.2
サービス業	21.7	54.3	23.9	-2.2
合計	22.6	59.4	18.0	4.5

キラリ輝く枚方の事業者紹介

枚方市ものづくり企業支援総合サイトとは、枚方市内ものづくり企業（製造業）の情報（事業者情報、主要製品情報、独自技術等）を本サイトに集約して提供することにより、ものづくり企業の取引の拡大・新製品の開発・新規事業への展開などに寄与し、枚方市内ものづくり産業全体の活性化を目指して開設されたホームページです。皆様もぜひご活用ください。

【枚方市ものづくり企業支援総合サイト ホームページアドレス】 <http://www.waza-kirara.jp>

「端子」を発端に新しい視点を追求する電気部品メーカー



「端子」を発端に、幅広い技術を提供。

—— 主力製品の端子とは、家電製品などで使う電源コードの端子ですね。約 200 種類も製造されているとは驚きです。

はい。どなたも一度は目にしたことがある端子が、木谷電気の原点です。ご希望のスペックに合わせて自社で設計し、サンプル作りも製造も自社で行っています。大体、規格が決まっていた標準品だと 10 種類程度なのですが、各メーカーさんの仕様によっていろいろな端子があるので、カスタマイズされたものを含めると約 200 種類になりますね。

最初は端子製造だけだったのですが、やがて高度成長期に伴ってお客様から「大量生産・安定した品質」を求められるようになり、「自動機」も製造するようになりました。これは端子と電源コードを自動的に接続する機械です。電線の皮むきから、芯線と端子の圧着、成形、指定の長さへの仕上げ、さらに電気試験まで。一連の工程を自動でできる機械を造って最適なソリューションを提供し、その機械に合う端子と一緒に販売することで、木谷電気の端子は国内シェア 6～7 割を占めるようになりました。

ただし現在は、多くのお客様が海外に拠点を移されましたし、家電分野は中国・台湾・韓国などの海外メーカーの振興で生産数が減ってきているため、3 割前後になっているのではないかと思います。「自動機」もトータルで 200 台ほど製造しましたが、やはり同様の影響があり、現在はほとんど製造していません。

でも自動機製造のノウハウがあるため、様々な工程の自動化や省力化といったご依頼をいただくこともあります。端子とはまったく関係のない、例えば工場内のある工程に自動設備を取り入れる…といったことも可能です。端子製造に始まって、プレスや射出成形、自動設備化まで幅広く対応できる技術がありますし、もちろん設計開発から承りますので、とりあえず何でもご相談ください（笑）。



—— 端子以外に、太陽光発電関連の事業も大きな割合を占めているそうですね。

20 年ほど前から、太陽光発電装置に使う「ジャンクションボックス」や「接続箱」という機器を製造するようになりました。

ジャンクションボックスは、太陽光パネルからインバータに電力を送るための電線を保護する機器。接続箱は、たくさんの太陽光パネルから集めたエネルギーを、一つにまとめ

てパワーコンディショナーにつなげるものです。

売上の面で見れば、現在はこちらの事業の方が端子製造を上回っていますね。組立やものづくりの一部など、太陽光関連の製造・工程はおもに海外の拠点（中国・ラオス）で行っています。ちなみに端子の製造は、ほとんどが日本国内の工場が担当。それぞれの工程の効率やコスト面を考えて、そういう分担になっています。



この太陽光発電に関わってきたことから、フィルターを手掛けている企業とご縁ができて、お互いの技術を合わせて何か作れないか…ということになりました。

いろいろ検討した結果、まだ手探りではあるものの「ソーラー浄水システム」の試作品が完成。これは、災害時に川などの水をポンプで汲み上げ、フィルターを通して飲料用に浄水できるシステムです。ポンプや浄水の電源として、太陽光を使用。非常用の電源も確保できます。個人宅用というよりは、自治体や自治会などに備えていただくシステムですね。

この試作品は、11月に東京ビッグサイトで開催された「新価値創造展 2017」に出展しました。

いつ何どきでも「リスタート」できる。

家電分野が海外メーカーに押されてきたという時代背景もありますが、やはり50周年を迎えて、「次の50年に向け、従来の概念にとらわれず新たな気持ちで物事を進めていこう」という気持ちになりました。社会情勢やニーズの変化のスピードも、昔より格段に速くなっていますからね。

「大阪ものづくり優良企業賞 2017」に応募したのも、お客様から仕事をいただくだけでなく、私達のように作り手の側から何か発信していく必要があるのではないかと思ったからです。おかげさまで優良企業賞と、いくつか特許製品があるということで知的財産部門賞をいただきました。これまで続けてきたことを評価していただいたことで、また新しいアイデアやものづくりに対する意欲が出てくれば…と思っています。



——2014年に掲げられたスローガン「リスタート」には、次の50年に向けての宣誓的な想いが込められているのですね。



生まれ変わる
常に柔軟な発想をしていく

じつは50周年までは毎年新たなスローガンを打ち出していました。50周年の翌年に“生まれ変わる”という意味を込めて掲げたのが「リスタート」なんです。でも、常に柔軟な発想をしていくという意味では、いつ何どきでもリスタートすることができる。今は特に、あっという間にニーズが古くなってしまいう時代です。常にリスタートする気持ちで、いろいろな分野に目を向けなければいけない。そういう想いから、2014年以降はこのスローガンを引き続き掲げていくことにしました。

「新価値創造展」への出展や「大阪ものづくり優良企業」への応募も、リスタートの一環です。社内でも職種の垣根を超えたアイデア会議などを定期的に行っているのですが、やはり社内だけで考えていると行き詰まってしまう。いろいろなところに出展したり出かけたりすることで、多くの人や企業とのつながりができれば、そこから新しい着眼点や発想をいただけると思うんです。その一方、50年以上ものづくりに取り組んできた実績から、つながることで私達が何かのお役に立てるのではないかと、いう自負もあります。

枚方市からのお知らせ

若者を採用したい市内事業者様へ

枚方市からのお知らせ

予告 平成30年12月

『若者しごとマッチングフェスタ』 inメセナひらかた

(合同面接会・合同説明会)を開催します！

「若者しごとマッチングフェスタ」とは…

- ◎ 概ね39歳までの若者と若者正社員を求める
市内事業者様のための合同面接会 & 説明会です。
- ◎ 参加要項等、詳細については
枚方市のホームページで後日お知らせいたします。

下の企画も開催します

- ◆ 8月頃 事業者様向け
「若手社員採用にむけた支援セミナー」
- ◆ 11月 若者向け「就職応援セミナー」
- ◆ 平成31年2月頃
事業者様向け
「若手社員の定着のための支援セミナー」

問い合わせ

枚方市役所 産業文化部 産業振興室 商工振興課
〒573-8666 枚方市大垣内町2丁目1-20
TEL 072-841-1381 FAX 072-841-1278



今後とも市内の産業振興をよろしく申し上げます☆
【枚方市 ひこぼしくん】

枚方市商工だより

発行 枚方市商工振興課
編集 北大阪商工会議所
印刷 (株)アドバンス
発行日 平成30年3月